



2022年10月14日

各位

会社名 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド  
代表者 代表取締役社長 米田 幸正  
(コード番号 7829:東証グロース)  
問合せ先 管理統括本部長 杵本 直司  
(TEL 03-6400-5524)

## 営業外収益・営業外費用の計上、及び2023年2月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2023年2月期連結会計年度(2022年3月～2023年2月)において、下記の通り営業外収益・営業外費用を計上いたしました。また、2022年4月14日に公表しました2023年2月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. 営業外収益の計上について

当社は、2023年2月期連結会計年度において、海外子会社等における為替差益178百万円を、営業外収益として計上いたしました。

#### 2. 営業外費用の計上について

当社は、2023年2月期連結会計年度において、銀行等からの借入に伴う支払利息72百万円を、営業外費用として計上いたしました。

#### 3. 2023年2月期の第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,540	△ 208	△ 206	△ 305	△ 4.63
実績値(B)	12,279	△ 1,080	△ 896	△ 998	△ 15.17
増減額(B-A)	△ 2,261	△ 872	△ 690	△ 693	
増減率(%)	△15.6	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2021年2月期)	11,851	△ 1,828	△ 1,686	△ 2,434	△ 36.97

#### [差異の理由]

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が段階的に回復する前提をもとに予想を立てておりましたが、夏場の天候不順等によりファッションアイテムの売上が振るわなかったことや、海外旅行者の入国規制継続によるインバウンド需要が当初より後ろ倒しと

なったことなどに伴い、売上高が業績予想を下回りました。また、売上原価率につきましても、資源価格上昇や急激な円安進行等の影響を受け、当第2四半期後半において一部主力商品の価格変更等対応いたしましたが、期間内での改善には至りませんでした。一方、販売費および一般管理費の節減に尽力いたしましたが売上総利益の減少を補填するまでには至らず、業績予想を下回る結果となりました。

なお、通期業績予想につきましては、当社事業における第3四半期および第4四半期、特に年末年始商戦等が下期業績に与える影響が大きいこと、また、新型コロナウイルス感染症の影響が一巡し、インバウンド需要の回復等が見込めるとともに、市場への対応に向け自社内において準備を進めておりますことに加え、全社的に販売費および一般管理費について、積極的な過年度在庫消化に伴う主要倉庫の契約面積の見直しによる倉庫賃料の節減や、広告宣伝費・販売促進費の計画見直しによる節減を図るなど、業績改善に向けた具体的施策を推進しておりますことから、以前公表した業績予想を据え置くものいたします。今後業績の推移に応じて修正の必要性が生じた場合には、速やかに公表することといたします。

以上